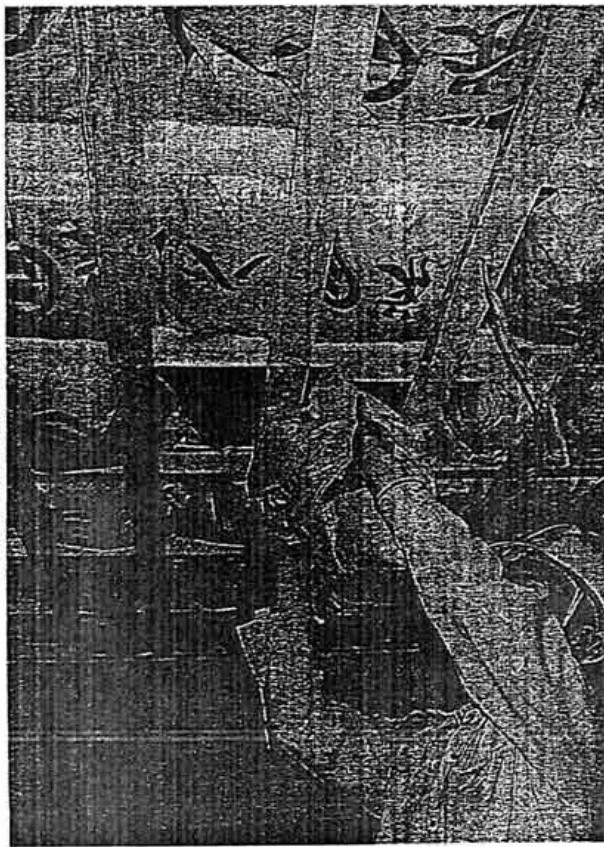


調湿木炭 アトピーに効果



新築マシンで天井用に敷き詰められた一炭八

森田教授が学会で発表

6人中5人が改善

この結果、日本皮膚学会が定めたかゆみなどアトピー性皮膚炎の症状を点数化した臨床症状の推移で、患者六人のうち五人は数値が改善。13から6、18から9、10から

このことから森田教授は「コナヒヨウダニやカビなどの環境抗原はアトピー性皮膚炎の重要な増悪因子である」と述べた。

悪因子と考えられている。適量の木炭を床下や天井に敷設することで家の湿度を低下させることができ、高温度を好みヒヨウダニやカビの生育を阻害することが期待される。十月の観察により、六人中五人が著明な皮膚炎症の改善が見られた。以上により調温木炭の敷設はアトピー性皮膚炎の改善に有用である可能性が示された」と話している。

「炭八」は同社と島根大学と行ってきた共同研究で炭化温度約七百八十五度に設定するなど研究が進められ、炭一^キ。当たり二十二・九^キの温氣を取り除く効果があり、床下に敷くと柱材の温度を三年間でシロアリが来にくく含水率20%以下に引き下げることを立証している。

同社は炭の粒度を小さくした天井用の炭八も開発。新築マンションなどで設置も始めている。

アトピー性皮膚炎を対象にした共同研究は今年度も継続。また、〇三年十月から小児せんそくを対象にした共同研究も島根大学と進めている。

石飛社長は「今回アト

ビ一性皮膚炎のつる環境要素の改善の可能性が認められたこと、マンショングルや既設住宅でのカビ、ダニ抑制対策に炭ハを取り入れていきたい」と話す。